

2024春闘交流集会

夏季闘争、人勧闘争、最賃闘争へつなげていこう



大阪労連と大阪春闘共同委員会は初めてのとりくみとして、6月8日に「2024年春闘交流集会」を52人が参加し開催しました。

主催者挨拶として菅義人代表委員（大阪労連議長）は「24春闘では26年ぶりの水準の賃上げを獲

得しているが、引き続き職場や地域でたたかいてあげよう」と呼びかけました。嘉満事務局長からは、24春闘の全国的な到達状況が報告され、その後、4つの組織から特別報告が行われました。

① 建交労・荻田智書 議長「2回、3回と交渉を行い、昨年を上回る回答を引き出した。要求書提出は100%をめざした。最低賃金の義務化や下請け構造の廃止を求めていく」、② JMTU・山田忠明委員長「各職場で粘り強く闘った結果、賃上げは平均5桁を突破した。しかし、物価高には追い付いていない。今後も組織強化で取り組んで要求を前進させたい」、③ 自治労連・仁木将書記長「春闘では交渉で当事者がどれだけ声を上げるかを重点に取り組んだ結果、非正規の要

求が前進した。夏季闘争では、なかまの力で賃上げなどを勝ち取っていく」、④ 寝屋川労連・大西一馬事務局長「最賃意見書採択運動では、すべての会派と懇談し、生計費調査の内容や最賃引上げと中小企業支援が入った意見書が全会一致で採択された」

全労連が呼びかけた、能登半島地震支援ボランティアの第3弾(5月10日〜12日)には全国から80人、大阪から7人(大阪労連、自治労連、東大阪労連・茨木労連)が参加しました。

ボランティア活動の報告 大阪労連・永井伸和副議長

1日目は珠洲市内、2日目は能登町内、石川県労連の組合員の自宅から豊やタンス等の家具の運びだしなどを行いました。どちらの家もたくさんあるけど、避難先が手狭で少ししか手元に残せません。ご家族にづらい思いを振り切って捨

てる物を選別してもらいました。また、どちらの家も金沢などの遠方の親戚を頼って避難されているので、片道3時間かけて車で自宅へ戻って来られました。

上部団体の枠を超えた支援行動

初日は、自治労連として穴水町や能登町などへ上部団体の枠を超えた支援を行いました。穴水町では役場自体が隆起のため駐車場や玄関前に歪みやひび割れなどの急急処置がされてお

震災から5カ月以上 被災者・被災自治体の復旧はまだ



蔵の片付け

り、ロビーの床にもひび割れが見られました。また、役場の側の山が一部崩落し建物に迫っている様子には自然災害の脅威を

感じました。能登町の職員からは「見てのとおり復興はまだ先です。全国のみなさんが避難所運営など支援いただけて助かりました」と話されました。その後、大阪から来たメンバーと合流してボランティア活動を行いました。

万博より被災地支援を 東大阪労連・西岡健二さん

ボランティア活動は、大阪労連の永井副議長と共に行動して「まだまだ被災者の生活復旧のためにはボランティア支援が足りない、長い支援が必要、社会福祉協議会が募集するボランティアも本格化していない、万博なんかやっている場合ではない、人もお金も資材も被災地へ」の思いをいっそう強く感じました。

引き続き、ボランティアだけでなく支援物資やカンパなどのとりくみを続けましょう。

公務労働者の労働基本権回復をめざして

ILO 要請行動

6月3日からスイス・ジュネーブで開催されるILO(国際労働機関)総会に向け、全労連公務部会は、日本の公務労働者の労働基本権回復の実現めざし、ILOへの要請行動と権利が確立されている世界の労働組合との連帯を目的としてオランダ労組連盟との懇談を、5月15日から23日にかけてとりくみました。参加した枚方市職員労働組合の三宅武志副委員長からレポートを寄せて頂きました。



新自由主義のものと公務サービスが削られてきた日本、一枚方市職労への不当労働行為をはじめ「大阪市での3条例」「守口学童の不当解雇」「門真市職労への不当な攻撃」などを紹介し、公務労働者に労働基本権が保障されていないことが不当労働行為の温床であり、また、「公務の産業化」や非正規化によって「公共」のやせ細りを余儀なくされ、職員や住民の権利が脅かされていることを報告しました。世界では、住民の命と暮らしを守る公務員の社会的地位

公共交通機関の安心・安全を壊すな！

白タク合法化反対

5月23日、大阪労連と自交総連は万博を理由に危険なライドシェアの全面解禁を求める吉村洋文知事に抗議する宣伝行動を、大阪市内2か所で行くみ40人が参加しました。

4月から第二種運転免許を持たない一般ドライバーが自家用車で有償運送する日本版ライドシェアが東京アゲが皮切りに一部地域で始まり、大阪も6月には実施されます。ライドシェアを導入した諸外国では性暴力などの犯罪や交通事故が多発し、交通機関に求められる安心・安全が保障されないことから、禁止や強い規制を科しているのが世界の流れです。また、ライドシェアの本質は、ギグワーク(単発労働)の請負労働で労働者が否定され労働基準法の外に扱われることにあります。宣伝では「市民は安心・安全な地域公共交通を求めているのであって、大阪に危険なライドシェアはいらぬ」と訴えました。訴えを聞いた市民からビラを求められ、タク



シードライバーに呼びかけると「ビラ全部ちょうだい、お客さんに渡すから」と30枚程受け取ったなどと、報告がありました。引き続き、共同して白タク・ライドシェア反対の声を上げましょう。

国労大阪会館を
 研修・学習会などにご利用ください
 JR・天満駅 地下鉄・扇町駅 下車すぐ
 ◆身障者用昇降機設置
 お申し込みは ☎06(6354)0661
 〒530-0034 大阪市北区錦町2-2



アメリカは今すぐイスラエルへの支援をやめろ！

5月17日、大阪労連と他3団体が呼びかけ、アメリカ領事館前抗議行動を行いました。「ガザでは3万5千人以上殺され、その半数近くが子どもたち。今こそ、アメリカはイスラエルの支援をやめ、即時停戦を働きかけるべきだ」と訴えました。

9条改憲NO！国道26号線一斉スタンディング行動



戦争法に反対する阪南地域連絡会は、5月18日「9条改憲NO！国道26号線一斉スタンディング行動」を実施。参加者は「9条改憲ノー」「軍事費増やすな！生活守れ！」「ウクライナ・ガザに平和を」などのプラカードを掲げ、晴天の下で力強くアピールしました。

夢洲カジノIR建設差し止め訴訟 大阪市の主張がくすれる



5月28日、夢洲カジノ・IRカジノ差し止め訴訟弁論で、大阪府が隠していたメールから、カジノ施設予定地の価格を大阪市や鑑定業者らの間で示し合わせ、不当に安く鑑定した内容が見つかりました。弁護団は鑑定業者4社を懲戒請求しました。



万博の建設現場では3月末メタンガスによる爆発事故が発生。大阪教職員組合などは6月5日、大阪府が、万博に小中学生や高校生を学校単位で、無料で招待することについて、教育委員会に対し、「危険なところへ子ども連れていくな」と中止を求める要請をしました。

万博への子ども招待は「中止」を！